

留 学 報 告 書

記入日:2016年6月11日

所属学部／研究科・学科／専攻	理工学部電気電子生命学科
留学先国	アメリカ
留学先高等教育機関名 (和文及び現地言語)	和文: カリフォルニア大学デービス校 現地言語: University of California, Davis
留学期間	2015年9月～2016年3月
留学した時の学年	3年生(渡航した時の学年)
留学先での学年	3年生(留学先大学で在籍した学年)
留学先での所属学部等	<input checked="" type="checkbox"/> 特定の学部等に所属しなかった。
帰国年月日	2016年3月26日
明治大学卒業予定年	2017年3月
留学先大学について	
形態	<input type="checkbox"/> 国立 <input checked="" type="checkbox"/> 公立 <input type="checkbox"/> 私立 <input type="checkbox"/> その他
学年暦	1学期: 2学期: 3学期: (記入例/1学期:4月上旬～7月下旬, 2学期:9月中旬～2月上旬)
学生数	
創立年	1905年

留学費用項目	現地通貨(US \$)	円	備考
授業料	12,790	140万円	1 quarter \$6,395
宿舍費	6,510	70万円	\$930/month
食費	1400	15万円	\$100-200/month
図書費	200	2万円	
学用品費		円	
教養娯楽費		円	
被服費		円	
医療費		円	
保険費		円	形態:
渡航旅費	2200	25万円	
雑費	1000	10万円	
その他		円	
その他		円	
その他		円	
合計	24,100	270万円	

渡航関連

渡航経路: サンフランシスコ経由

渡航費用

チケットの種類 _____
 往路 _____
 復路 _____
 合計 _____ 25 万程度

渡航に際して利用した旅行会社やガイドブックを教えてください。

特になし

滞在形態関連

1) 種類(留学中の滞在先)(例: アパート、大学の宿舎など)

アパート

2) 部屋の形態

個室 OR 相部屋(同居人数 _____)

3) 住居を探した方法:

UC Davis の大学サイトから

4) 感想:(滞在先の感想とこれから留学する人のためのアドバイス)

現地のアパートはやや高めだが、ジム、プール、スタディールーム等、公共施設が充実していて住みやすかった。大学都市なので部屋も探しやすいと思います。

現地情報

1) 現地で病院にかかったことはありますか? 大学内の医務室/診療所や付属病院等で医療サービスを受けることは可能でしたか?

利用する機会が無かった
 利用した:

2) 学内外で問題があったときには誰に相談しましたか。留学先大学に相談窓口はありましたか。

3) 現地の危険地域情報をどのように収集し、どのような防犯対策をしましたか。また、実際に盗難等を含む犯罪に巻き込まれたことはありますか? その際どのように対処しましたか?

4) パソコン、携帯電話、インターネット(接続について)現地での利用はいかがでしたか。

(例: 寮のインターネット接続が不安定で1週間に1度は全く繋がらない時がある。街にあるほとんどのカフェでは WiFi 接続が可能であったので、寮で使用できない時はカフェに行った。)

大学キャンパス内、アパート、その他施設ではほぼどこでも Wi-Fi があるのでインターネット環境はとてもよい

5) 現地での資金調達はどのように行いましたか? (例: 現地に銀行口座を開けて日本の親から送金してもらった。銀行口座は現地で外国人登録をしないと開設できない。また、クレジットカードも併用していた。)

アメリカでも取引可能な口座を事前に開設した。

6) 現地では調達できない日本から持っていきべき物があれば教えてください。

卒業後の進路について

1) 進路

就職 進学 未定 その他:

2) 進路決定の際に参考にした資料、図書、機関など

3) 就職を選択した方は、差し支えなければ内定先を教えてください。また、その企業を選んだ理由も教えてください。(内定を得た企業すべての名前、或は入社すると決定した企業の名前のみでも構いません)

伊藤忠商事株式会社

社会システムをマクロな視点から支えるだけでなく世界で働ける仕事があったので。

4)就職活動中・終了に関わらず、就職活動について感想・アドバイスがありましたらお書き下さい。 (例：留学中の就職活動へ向けた準備、帰国後に就職活動を始めるにあたり注意すること等。就職活動を不安に思 い、留学を断念する方もいます。ご自身の経験を踏まえてアドバイスをお願いします。)
留学前から帰国後に就活をすると決めている人は何か資料を持って行ったほうが良い。ポスコンキャリアフォーラムで はアメリカ各地から留学生が集まる就職イベントなので是非オススメです。
5)進学を選択した方は、差し支えなければ進学先を教えてください。
6)進学を志す留学希望者に向けたアドバイス(準備、試験対策等)がありましたらお書き下さい。
7) その他を選択した方は、留学希望者に向けたアドバイスがありましたらお書き下さい。

学習・研究活動についてのレポート(履修した科目ごとに記入してください)

1)留学先で取得した単位数合計	本学で認定された単位数合計 ※該当項目にチェックのうえ、記入して下さい。
19 単位	<input checked="" type="checkbox"/> 12単位 <input type="checkbox"/> 単位認定の申請はしません(理由：)
2)以下は留学先で履修した科目についてのレポートです。今後留学をする人たちへのアドバイスも含めてお書き下さ い。記入スペースが足りない場合は、A4 用紙で別途作成し、添付してください。	
履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語):
1.How Things Work 2.Macroeconomics 3.Programming Application	
科目設置学部・研究科	1.Engineering 2.Economics 3.Mechanical Engineering
履修期間	fall quarter, winter quarter
単位数	12 units(4 units/class)
本学での単位認定状況	4 単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義、ディスカッション(チュートリアル、講義形式等)
授業時間数	1週間に 50 分が3回
担当教授	1. Prof.Krol 2.Prof.Gaasbeck 3.Mr.Gucwa
授業内容	1.工学基礎と自由論文 3.プログラミング演習(C, C++, MATLAB) 2.マクロ経済学
試験・課題など	1.授業内演習、中間試験二回、ファイナルエッセイ 2.毎週 Aplia による課題、リーディング、中間試験三回、期末試験一回 3.毎週プログラミング課題をレポートにし提出、中間試験、期末試験各一回
感想を自由記入	同じ授業が週に 3 回もあるので進度が早く課題も多かったです。本当に最初は辛かっ たのですが、TA 制など生徒のフォローが本当にしっかりしている学校だと思いました。 日本と違って課題のウェイトが重く普段から勉強する習慣がついたかなと思います。

履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語):
4.Presentation Skill	
科目設置学部・研究科	Dramatic Art
履修期間	fall quarter
単位数	4 units
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	実習(チュートリアル、講義形式等)
授業時間数	1週間に 120 分が 2 回
担当教授	Prof. Leavy
授業内容	プレゼンテーションスキル向上のための表現法を学ぶ
試験・課題など	毎回の授業で教授からお題を出されて即興で発表
感想を自由記入	演劇の要素が入った授業でした。難しいことは特になくクラスメートと仲良くなりながら 表現力を鍛えるといった内容で本当にアメリカならではの体験ができたと思います。と ても楽しかったです。

履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語):
5.Academic Writing	
科目設置学部・研究科	Linguistic
履修期間	Winter quarter
単位数	4 units
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義形式(チュートリアル, 講義形式等)
授業時間数	1週間に 50 分が 3 回
担当教授	Prof. Dsvi
授業内容	文法、ライティング、プレゼンテーション
試験・課題など	エッセイ 3 回、ショートサマリー 3 回、プレゼンテーション 3 回、中間試験、期末試験各一回
感想を自由記入	ライティングの課題が毎週ありとても忙しかったが、アカデミックライティングを学ぶいい機会になっただけでなく本当に面白くて気さくな教授でとても楽しい授業でした。

留学に関するタイムチャート

留学するまでの準備、試験勉強、留学中、留学後、特に留学に関連して発生した事項を記入してください。例：語学試験の勉強、選考、出願、留学中の中間試験、期末試験、その他イベント等（形式は箇条書きなど簡単なもので構いません）

2014年 1月～3月	
4月～7月	
8月～9月	語学試験の勉強
10月～12月	学内選考
2015年 1月～3月	選考結果発表
4月～7月	アパート探し、ビザ取得
8月～9月	渡米、fall quarter 開始
10月～12月	中間試験、Thanks Giving Holidays、期末試験、冬休み
2016年 1月～3月	winter quarter、期末試験(3月第1週)、引っ越し、帰国
4月～7月	
8月～9月	
10月～12月	

留学体験記

留学しようと決めた理由	海外旅行を通し、視野の広がる楽しさに惹かれた私は、高校から大学入学後は留学をすることを目標にしてきました。さらに大学入学後に社会に出た後は語学力がディスアドバンテージにならないようにしたいと考え、今回留学を決意しました。
留学のためにした準備、しておけば良かったと思う準備	留学先の大学についてよく調べることは環境に慣れるという点において大きな役割を果たすのではないかと思います。どうしても現地に行くとなると覚えることが多く、精神的に疲れることがあるので少しでも知識があると(大学に関することだけでなく地理的なことであつたり治安であつたり知っておくと便利です)心に余裕が生まれると思いました。
この留学先を選んだ理由	まず一点目の理由としてはデービス校が理系に強く世界的にも有名な大学であつたからです。せっかくの機会なので世界中から留学生が集まり、かつ優秀な人々に囲まれて勉強してみたいと思いました。二つ目の理由は東京育ちの私にとって少し都会から離れた静かな街での暮らしを体験したいと思つたからです。
大学・学生の雰囲気	とても自由でのどかな雰囲気のある大学でした。カリフォルニア大学はリベラルな大学で有名だけあって、異文化交流が盛んで本当に世界各国から留学生の集まる地域だと肌で実感しました。広くて綺麗なキャンパスと空が本当に綺麗なデービスは、治安も良く住みやすい街だと思います。
寮の雰囲気	私はアパートを借りてルームシェアをしていました。私の参加したプログラムは大学寮に入ることができないので、学生は各自ホームステイ先を見つけるかアパートを借りるかしてははいけません。留学中に何度も引越しをする友人もいて、とても大変そうだったので住むところは早めに決めておくべきだと思います。
交友関係	休日や誕生日などにはご近所でホームパーティをよく開いていました。留学生も多い大学なので世界各国から来た人と出会う機会があるのは本当に貴重な体験でした。アメリカならではのサンクスギビングデーは本当に国中が休暇モードになり、大勢の家族友人で集い、美味しいものを食べて過ごすという楽しい連休でした。
困ったこと、大変だったこと	授業の履修が留学生は後回しになるので時折取れない授業もありました。留学前によくそこを確認しておくべきだと思います。また、デービスの交通手段は自転車がメインで、無料バスも平日は充実しているので便利ですが、休日は本数が少ないので自転車を持ってないと大変不便です。
学習内容・勉強について	日本と違い同じ週に何度も同じ授業があるので、進度は予想以上に速く、毎日復習しないとついていけるのに苦労してしまうと思います。しかしメジャーが多いので本当に日本では見たことのない授業であつたり楽しい授業があつたりと辛さ以上に楽しさはありました。
課題・試験について	どの授業でも課題も毎日取り組まないと終わらない量でした。クォーター制で一期が10週のため、中間試験の間隔が狭く、取る授業の組み合わせによっては2週間に一回はテストということもありました。内容的には基礎的な問題が多かつたのですが全体を網羅している問題なのでまんべんなく復習する必要があります。
大学外の活動について	全米一のジムがある大学だったので授業の合間などによく通っていました。また、ボランティア団体に所属して、小学校のティーチングアシスタントをしていました。主な仕事内容は小学生の読み書きを手伝うものでした。
留学を志す人へ	留学準備は本当に前々から始めなくてはならないので気が遠くなる小さい作業の積み重ねですが、それは留学先でも求められることであると思います。留学したいという強い気持ちがあるのならその目標を諦めずに達成し、その諦めない心を留学中にどんどん磨いていってほしいと思います。留学は本当に貴重で一生忘れられない経験になると思うので是非今の努力を惜しまず、頑張ってください。

1週間のスケジュール(例)

	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日	日曜日
午前中	MACROECONOMICS	LINGUISTICS	MACROECONOMICS	LINGUISTICS	MACROECONOMICS	小旅行	
						自習	
午後	課外活動	ENGINEERING	ジム	ENGINEERING	ジム		
夕刻	自習	自習	自習	自習	自習		
夜							

